

# 三重大学教職大学院

# 8期生最終成果報告会

2024年度に入学し、理論と実践の往還により学びを深めてきた8期生22人の、最終の学修成果報告会を開催します。対面公開に加えてZoomによるオンライン配信も行い、どなたでも参加可能です。

多くの皆様に8期生の学修成果を見届けて頂きますよう御願い致します。

**日時**

① 2026年 2月 20日(金) 9:50～17:00

② 2026年 2月 21日(土) 9:50～17:00

※ ①は学部新卒等院生、

②は現職教員院生および学部新卒等院生の報告日です。

**対面会場**

三重大学教職支援センター・レクチャールーム

**参加方法**

2/13 (Fri) までに下の《申込フォーム》から参加申し込みを行って下さい。対面、オンラインは任意に選択可能です。  
対面参加の方は直接、会場へお越しください。  
オンライン参加の方へは、2/18 (予定) にZoom情報をお送りします。

**《申込フォーム》**

<https://forms.gle/gYDRjpWDSGpc46Gf9>

**《お問い合わせ先》**

三重大学教職大学院教務委員会 E-mail: [mkd-kym@edu.mie-u.ac.jp](mailto:mkd-kym@edu.mie-u.ac.jp)

後援 三重県教育委員会

# 報告者・題目一覧 (発表順)



① 2026年2月20日(金) 9:50 開会

10:00~12:00

谷口 真生	特別支援教育分野	通常学級と通級指導教室における発達特性による困り感のある児童への教師の指導・支援に関する事例的分析
石原 潤弥	教科教育高度化分野	中学校数学科「正の数・負の数」の加法・減法に関する実践研究 —代数的処理に着目して—
勝村 奏太	教科教育高度化分野	方程式のよさを感得させるための実践研究 —中学校数学科「一次方程式」の問題解決を通して—
鈴木 雄大	教科教育高度化分野	高等学校数学科における社会生活と数学の往還に関する研究

13:00~15:00

森本 直矢	教科教育高度化分野	文章題解決における図の有効性に関する研究
加藤 凜	教科教育高度化分野	リテリングに対する不安感や抵抗感に関する研究
吉見朱日佳	教科教育高度化分野	小学校外国語科におけるエンゲージメント
萬賀 太一	学習開発分野	教員と生徒の「自分ごと」化を促す生成AI教育プログラムの開発研究

15:15~17:00

笹田 誠人	教科教育高度化分野	生物基礎における「問い合わせ」の生成に関わる学習指導とその実践 —理科の見方・考え方と問い合わせの生成プロセスに着目して—
濱口 祐衣	教科教育高度化分野	高等学校理論化学における実生活・実社会との関連を重視した 「単元デザイン」の開発と実践
鈴木 佑翼	教科教育高度化分野	授業動画を用いた教師の授業観察力の育成に関する実践的研究： 中学校保健体育科「球技・ゴール型・ハンドボール」の授業実践を通して

# 報告者・題目一覧 (発表順)



② 2026年2月21日(土) 9:50 開会

10:00~12:00

佐々木亮輔*	教科教育高度化分野	高等学校数学科における問題演習の考察 —「わかる・おもしろい・のこる」数学を目指して—
柴原 大樹*	教科教育高度化分野	量を核とした正比例の指導に関する研究 —負の数への拡張に焦点を当てて—
佐藤 雅貴*	経営力開発分野	教師の協働的な省察を核とした学校文化の再構築 —特別活動における教師の願いと子どもの思いのずれに着目して—
小瀬古圭慶	学習開発分野	生徒が問い合わせをつくるファシリテーションのあり方に関する考察 —総合的な探究の時間と中学校社会科での実践を比較して—

13:00~15:00

末澤 孝浩*	教科教育高度化分野	小学校国語科における子どもの問い合わせの質的変容に関する研究 —文学的な文章の教育内容に着目して—
川西 律熙	教科教育高度化分野	高等学校の古典教育に関する研究 —「言語文化」における書くことに着目して—
山本 健太*	教科教育高度化分野	中学校音楽科鑑賞授業における教授行為に関する研究 —生徒の知覚・感受が往還される授業実践を目指して—
甫本 創太*	教科教育高度化分野	何が若手教員を「学び手になること」から妨げるのか —教職経験5年次までの小学校教員を対象としたインタビュー調査 から—

15:15~17:00

吉井佑太郎*	教科教育高度化分野	年間カリキュラムに位置づけたパフォーマンス評価は高校教員の 力量形成にいかに影響するか —同僚とともにつくる歴史総合の授業—
野村 美森	学習開発分野	学力格差を克服する学校に関する研究 —効果のある学校の外部的要因に着目して—
大澤 健人*	経営力開発分野	エンパワメントをめざす人権学習に関する事例研究 —パウロ・フレイレの意識化に着目して—

\*は現職教員院生、無印は学部新卒院生